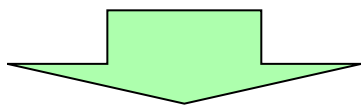


# 福島市(東北圏ブロック)

【計画期間 22年3月～27年3月】

・江戸時代:養蚕業を基に生糸製品の集散地として商業が発展  
 ・明治以降:県庁、市役所をはじめ公共施設が集積、JR、新幹線、私鉄、高速バス等、交通の結節点として発展

- 駅前通りの百貨店撤退、郊外大型店の進出等により中心市街地の商業的魅力が低下。
- 高齢化の進展に対応した医療・福祉機能、交流の場等の居住環境の不足。
- 経済不況による民間共同住宅整備の縮小。



## ○歩行者・自転車通行量

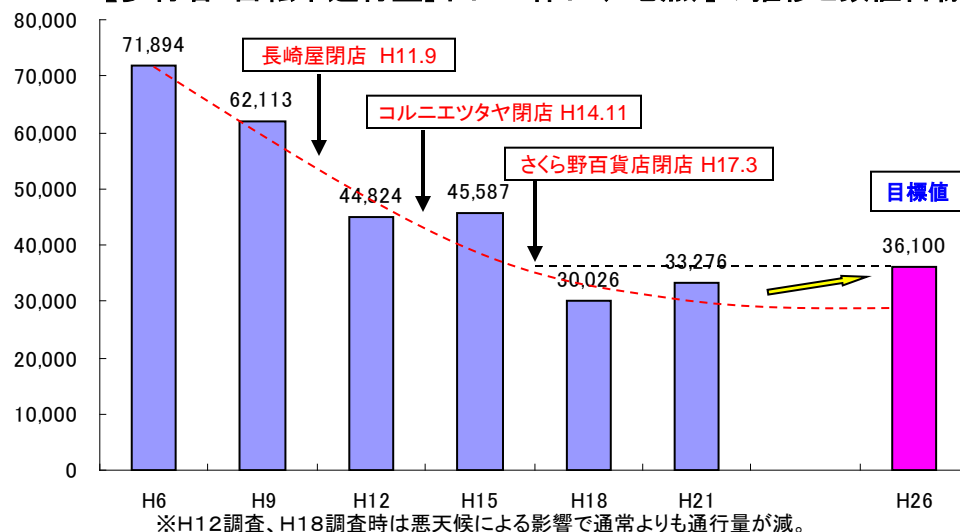
H6:71,894人 → H21:33,276人(▲54%)

## ○居住人口

H7:17,068人 → H21:15,417人(▲10%)

目標	指標	現況値(H21)	目標値(H26)
集客拠点と回遊による賑わいの創出	歩行者・自転車通行量	33,276人	36,100人
快適居住の促進	居住人口	15,417人	15,550人

【歩行者・自転車通行量[平日+休日(9地点)]の推移と数値目標】



■集客拠点づくりやまちなかを楽しく回遊しながら快適に過ごせる環境を整え、賑わいの創出を目指す。

⇒主要事業:①曾根田西地区集客拠点再整備事業、②仲見世テナントミックス整備事業、③ふくしま屋台村運営事業、④まちなか回遊性の向上

■医療・福祉の充実や市民生活に彩りを与える文化・交流の場の整備等、居住環境を整備するとともに、高齢者向け複合施設等、快適な居住空間を創出し、都心居住を推進する。

⇒主要事業:⑤仲間町交流施設整備事業、⑥五老内町交流施設整備事業、⑦早稲町医療等複合施設整備事業など

# 福島市中心市街地活性化基本計画の事業概要

集客拠点づくりと回遊環境の整備で賑わいを創出

人が暮らし交流できる生活環境の整備で快適居住を促進

## ○仲見世テナントミックス整備事業(②)

TMOが”通り”ごとの特徴づけで、魅力アップを図る商業集積地において、閉鎖された夜型飲食店アーケード街を、**昼型飲食店や交流スペース**を中心としたテナントミックス施設として整備。

賑わい拠点とするとともに、街なか広場を活用したイベント等とあわせ、**子供から高齢者まで回遊しながら楽しく過ごせる空間**を創出。



## ○ふくしま屋台村運営事業(③)

情熱ある**若手経営者を対象**に、ふくしま屋台村(株)が屋台店舗での実践経験を支援。正規店舗での**起業化に向けたステップアップ**も支援する。



## ○まちなか回遊性の向上(④)

市内循環100円バスのルート見直しやレンタサイクルの充実等、**移動手段の整備を進め、回遊性を向上**。



## ○曾根田西地区集客拠点再整備事業(①)

撤退した百貨店の空きフロアを、**集客拠点**としての**商業施設**や**高齢者に対応した文化交流施設**にリニューアルし、賑わいを創出。



## ○仲間町交流施設整備事業(⑤)

金融機関ビルの建替えにおいて、**市民ギャラリー、カフェスペース**や**パブリックミニパーク**などの**交流機能を整備**。



## ○五老内町交流施設整備事業(⑥)

市庁舎の建替えにより、西棟の1階にユニバーサルデザインの**会議室**や**多目的ホール**、**託児スペース**等を配置し、**市民の交流の場**を整備。



## ○早稲町医療等複合施設整備事業(⑦)



再開発により、賃貸住宅(55戸)による**居住空間の確保**、**医療・福祉・子育て機能の充実**を図り、地域の居住環境の向上と賑わいを創出。

## ○高齢者向け医療・居住複合施設整備事業(⑧)(⑨)

低層階に医療クリニックを有する高齢者向け賃貸・分譲住宅として、**⑧太田町東地区(20戸・賃貸)**、**⑨栄町南地区(40戸・賃貸、42戸・分譲)**の**複合施設を整備**。

